



## Press Release

独立行政法人国際協力機構 四国支部(JICA 四国) 担当:藤野  
TEL.(087)833-0901(代表) FAX.(087)837-0747  
e-mail: [jicaskic-coordinator1@jica.go.jp](mailto:jicaskic-coordinator1@jica.go.jp)  
URL: <http://www.jica.go.jp/shikoku/index.html>

# アルメニア共和国、キルギス共和国、ウズベキスタン共和国から 障害者支援分野の研修員 17 名が徳島県に来県！ ～日本における障害者支援の現場、施策について学びます～

JICA 四国では、徳島県青年海外派遣の会（山田 憲 会長）との共働で、11月20日～12月2日までアルメニア共和国、キルギス共和国、ウズベキスタン共和国の3カ国から17名の研修員を徳島県に迎え、青年研修「社会保障 / 障害者支援制度コース」を実施します。

今回、徳島県入りする研修員の3カ国は、ソ連時代に比べ、政府からの障害年金の金額が削減され、生活水準に直接的な影響を与えたり、福祉サービスの質の低下が指摘されています。また、障害者側にも、長年、支援を享受するだけの存在であったために、自ら生活を向上させようという当事者意識が低いという問題もあります。障害者が社会参画することには、まだ大きな障壁がありますが、現在、各国において、社会への進出・参加から阻害されている障害当事者の方々をネットワーク化・能力強化することで自らの意思で社会参加を果たす社会の仕組みを作り出す動きも出始めています。

今回、研修員は、主に徳島県における障害者支援について視察と講義を中心に研修を受けます。自らも障害をもち、「障害者自立支援法」策定にも関わった愛知淑徳大学医療福祉学部教授、谷口明広氏による講義や障害者支援団体との協議会、合宿セミナーを開催して、同分野の専門性を有する日本人との意見交換会なども予定されています。さらに、徳島県での滞在中、藍染体験や阿波踊り会館での阿波踊り体験なども、研修員が楽しみにしている活動の1つです。

本研修を通じて研修員が多くの情報や知識を得て、それぞれの国における「障害者支援」の発展に活かすことが期待されています。（日程は別紙をご参照下さい。）